

大人のための情報モラル通信

減少しない誹謗中傷について

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

2024年はフランス/パリでオリンピックがありました。多くの日本選手が活躍して大いに盛り上がりましたが、SNS等では選手に対する誹謗中傷も多く見られました。

国際オリンピック委員会(IOC)によると、全世界で**8,500件にのぼる誹謗中傷投稿**があり、日本人選手に対する誹謗中傷も相次ぎ、大きく問題視されました。



○昭和～平成

「ヤジの大合唱」



○平成～令和

「SNSで精神攻撃」



国内でも少し前まで、プロスポーツ競技の会場で「**へたくそ！やめちまえ○○！**」といったひどい暴言や、相手を侮辱する替え歌等が大合唱されていました。

現在は会場でのそのような行為は禁止されていますが、**SNSで選手に直接的な攻撃**をする人が後を絶ちません。オリンピックでも同じような行為が行われました。

★心の闇が反映されやすいインターネット空間★

スポーツ選手等の有名人は批判・批評を受けやすいですが、有名人も一個人であることに変わりなく、**過剰な批判や暴言は犯罪に該当**する恐れがあることを忘れてはいけません。

また、SNSは「どこの誰が投稿したのか」をすぐには確認できず、さらに**ターゲットを集団で攻撃するリンチ**のような様相を呈することが多いので、ダメージがかなり大きいです。

なお、被害を受けた人の中には、発信者を特定して裁判を行い**損害賠償**を請求し、匿名のつもりで誹謗中傷を行った人への責任追及を行うケースが増えています。情報発信は自由だけでなく、**責任**が伴うことを忘れてはいけません。



モラルが低い人はおそらくごく一部ですが、有名人も一般の人も多くの人が嫌な思いをしています。現状は**法的措置以外**に効果的な手段がない状況ですが、子ども達には「**人の嫌がることをしない**」といった道徳的な価値観を根気強く教えていく必要があります。